きょなん

町報　第440号
発行：鋸　南　町
編集：合併調整室
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

3
2005



『ちょっと止まって右左　車が来なかったら渡ります』

各幼稚園で交通安全教室実施

『交通安全は家庭から』をモットーに各幼稚園で交通安全教室が実施されました。

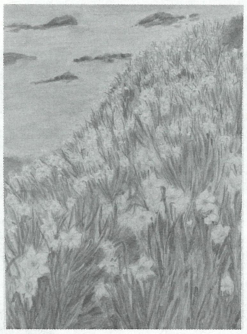
この交通安全教室は、各幼稚園で年2回実施されており、今回の教室は新1年生に上がる年長児を対象に、通学路を保護者と一緒に歩いて道路の横断の仕方や歩き方を学びました。

園児たちは、普段とは違った面持ちでしたが、まっすぐ上に伸ばした手と大きな掛け声で道路を横断する姿は、ピカピカの1年生そのものでした。

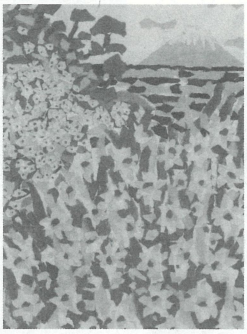
〔写真は、勝山幼稚園で実施された交通安全教室の様子〕

きょなん フォトニュース

水仙絵画コンクール入賞作品決定！！



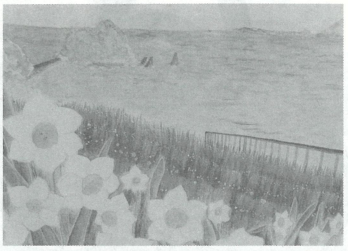
大　賞（水彩）
中学校の部
羽鳥　有紀子さん
（鋸南中３年）



大　賞（ちぎり絵）
小学校高学年の部
吉本　すみれさん
（保田小４年）



大　賞（クレヨン水彩）
小学校低学年の部
柴本　美果さん
（勝山小３年）



審査員特別賞（水彩）
池田　奈緒さん
（鋸南中３年）

町観光協会では、水仙まつりに合わせて、町内の小中学校の児童生徒を対象に水仙絵画コンクールを実施しました。今年で9回目となるこのコンクール、2月15日に審査が行われ、入賞作品が決定しました。各学校で1次審査を通過した、中学生の作品30点と3小学校から61点、合計91点が出品されました。水仙がテーマであれば内容が自由であるため、応募作品は、水彩画、ちぎり絵とさまざま。また、できばえも見事な作品揃いで審査は難航しました。結果は大賞には小学校低学年の部では、柴本美果さん（勝山小3年）、高学年の部は吉本すみれさん（保田小4年）、中学校の部では羽鳥有紀子さん（鋸南中3年）の3名が選ばれました。また、観光協会が例年作成している年賀状の図柄となる審査員特別賞には池田奈緒さん（鋸南中3年）の作品が選ばれました。入賞作品は3月5日から3月15日まで中央公民館ロビーで展示されます。



住民説明会を開催　協働のまちづくりに向けて

2月9日、中央公民館において「安房8町村合併協議会廃止及び自律に向けて」の住民説明会が開催され、会場には約400名の町民が集まり、白石町長から合併を離脱し、自立（自律）を目指すためには「特長ある地域づくり」と「行政と住民が協働できる体制」が良いまちづくりにつながるとあいさつがありました。

平島議長からは、「合併に参加できないのは非常に残念であるが、自立（自律）をするならばそれを重く受け止め、自立（自律）に向けて進むことが議員としての仕事であり、鋸南町の財政が悪いことを町民の皆さんが理解した上で、これからの行政に皆さんの意見を反映することは必要不可欠である」とあいさつがありました。

白石町長から安房11市町村から8町村の合併に至った経過が説明された中で、「安房のリーダーである館山市が抜けたことで、この合併は上手くいくのだろうか、良いのだろうか」と様々なことが頭をよぎったと、当時の心情がかたられ、自立（自律）に向けては「定住促進・少子高齢化」「交流人口の増加」「住民協働によるまちづくり」「徹底した行政改革と機構改革」について話しがありました。その後の町民との意見交換では、「新年度予算の編成が難しいのではないか」「自立（自律）をしたときの住民への負担」などを不安視する声が相次ぎましたが、町長は体力のある地域づくりをして、新たな合併に望むべきと話しました。それに伴い、保育所と幼稚園の一体化や行政機構の効率化、収入役の廃止など行政のスリム化案を示しました。

「四季のうつろい　江戸の花鳥画」好評のうちに終了



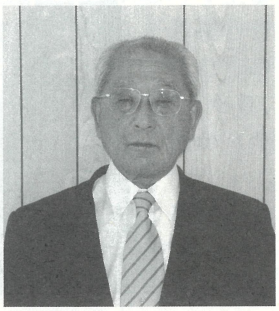
菱川師宣記念館で開催された特別展「四季のうつろい江戸の花鳥画」が、2月13日に、大好評のうちに終了しました。財団法人寺島文化会館（柏市）のご好意により、実現したこの展覧会は、一〇五年ぶりの里帰り（日本）公開となった葛飾北斎の「雪松鷲図」をはじめ、伊藤若冲、曽我簫白、琳派、円山派、狩野派など江戸後期の画壇で活躍した花鳥画の名手たちの作品が一堂に展示され、話題性とともに、酉年の新春にふさわしい展覧会に、六一二三人もの来館者が訪れ、緻密で鮮やかなさまざまな花や鳥、動物たちを描いた江戸絵画芸術に、皆、酔いしれました。

お詫びと訂正（2月号）　成人式の謝辞（写真の下）　原海→厚海

鋸南土地改良区役員決まる

鋸南土地改良区の総代会が開催され、更に同日役員会を開催し、理事・監事の互選により役職が決定しました。（敬称略）

理事長	中山佐久夫
副理事長	齊藤　博夫
〃	富永　昇一
庶務担当理事	久保田嘉隆
会計担当理事	永井　利雄
工事担当理事	柳澤　聰
用排水担当理事	山賀　岩夫
理事	中村　玲子
〃	鈴木　茂雄
〃	東瀬　光雄
〃	町田　正美
〃	吉田　勉
〃	三浦　英昭
〃	松山　勇
総括監事	中山　正
監事	地引　三良



理事長・中村佐久夫氏

保健推進員　功労知事表彰を受彰

平成17年1月19日（水）千葉県庁において、鋸南町保健推進員協議会（髙濱　久子会長他20名）が千葉県老人保健事業推進功労知事表彰を受彰しました。

昭和59年に公衆衛生指導員協議会（昭和62年保健推進員協議会に改名）として設立されてから現在にいたるまで20年にわたり、地域住民の健康で明るい家庭づくりに寄与するため、保健衛生思想の普及、健康の保持増進、母子保健事業の推進、生活習慣病予防、老人保健事業の推進、その他町が行う保健事業に関し、相談、調査及び連絡等の保健事業を町と住民のパイプ役として推進してきた功績が評価されました。

現在は、特に歯周疾患の予防や知識の普及に力をいれており、手づくりの人形をつかったオリジナルの人形劇は、日本家族計画協会主催の健康教育媒体コンテストで佳作賞を受賞するなど評価を受けています。



鋸南町で初の女性漁業士が誕生

千葉県内で熱心に漁業生産や地域活動に取り組む漁業者を「漁業士」に認定する県主催の式典が開催され、三橋美子さんが鋸南町で初の女性漁業士に認定されました。

三橋さんは、勝山漁協の婦人部員として、魚食普及等の活動を熱心に行うと共に、水産加工品などの販売を促進するなど、地元漁業の発展のため広く活動しています。

最近では、千葉県代表として全国青年・女性漁業者交流大会で「私にできることーサンゴ北限の町に住んでー」を発表し、魅力ある漁村づくりのためにも豊かな自然環境の保全をと呼びかけました。

勝山漁協では、18年ぶりの漁業士の誕生とあって、今後も活躍が期待されています。



安房農業賞・奨励賞受賞

去る、1月19日館山市静海荘にて、農林業の発展に尽力した人を称える安房農業賞・奨励賞の表彰式が行われました。鋸南町では、戸倉常喜さん（大崩）が安房農業賞、石井孝一さん（赤伏）が奨励賞をそれぞれ受賞しました。

戸倉さんは、長年にわたり安房農協和牛部会鋸南地区支部長を務めており、高品質な和牛生産の実践と普及に努めるなど、地域農業の発展に尽力されました。

また、石井さんは、現在、内房地区ホルスタイン改良研究会会長として活躍している中にあって、平成15年度には関東乳牛共進会、平成13、15、16年度には千葉県乳牛共進会に安房の代表牛として出品するなど、生産性の高い乳牛の飼養に努めるなど、地域農業の振興を図るうえで、今後も活躍が期待されています。



石井孝一氏　　戸倉常喜氏

「溝口七生展」開催のお知らせ

菱川師宣記念館では、3月9日から6月12日まで、「房総の自然と対話する風景画家　溝口七生展」を開催します。

鋸南町在住で、房総の風景画をライフワークとする溝口先生は、克明な描写で大自然の営みを描き、まるで写真のようにその一瞬を切り取ったかのような画風は、多くのファンを魅了し続けています。

今回は、先生の油彩、水彩、デッサン、海外のスケッチなど約一二〇点の作品を通して、大自然の探究者、溝口七生の世界を紹介する地元での初の画期的な展覧会です。ぜひ、ご覧下さい。



安房勝山夕景

青少年健全育成柔剣道大会

1月23日（日）鋸南中学校を会場に、第44回鋸南町青少年健全育成柔剣道大会が開催されました。大会は、地域の交流と技術の向上、青少年の健全な育成を図ることを目的として開催され、県内各地から、剣道の部91チーム、柔道の部31チーム総勢550名の生徒が参加して熱戦を繰り広げました。

結果は、剣道の部で小学生女子団体戦で鋸南Ａ、中学生女子団体戦で鋸南中学校がそれぞれ優勝、小学生男子団体戦で鋸南剣道スポ少が3位、一般の部でも鋸南剣友会Ａが準優勝と好成績を納めました。

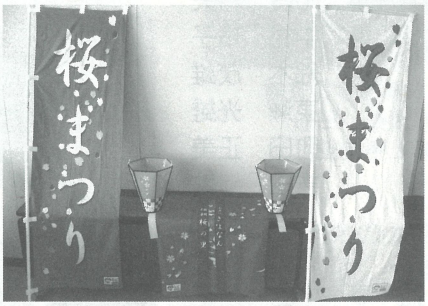


優勝した鋸南Aチームと剣友会の指導員の皆さん

「桜の里」日本一に向けて

官民一体となって、河津桜の植栽を中心に花いっぱい事業を展開中の町では、植栽された「さくら」を多くの人に楽しんでもらう桜祭りを開催するため、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業補助金により、桜祭り開催用の幟（のぼり）や半纏（はんてん）・ボンボリを購入しました。この補助金は宝くじの普及広報を目的としたもので、各用品には補助事業のキャンペーンマークが描かれています。

今後は桜の里日本一に向けた地域コミュニティ育成のため幅広く活用されるものと期待しています。



購入された幟（のぼり）や半纏（はんてん）・ボンボリ

佐久間小で不審者対策

佐久間小学校では、不審者に対応する避難訓練を行いました。学校への不審者の侵入に関わる事件が後を絶たない現在、いかに子どもたちを守るかが大きな課題となっています。館山警察署・勝山交番の皆さんのご協力をいただいて、実際に不審者が侵入したらどのように立ち向かうかなどを想定した訓練が行われました。



サスマタで不審者をとりおさえた瞬間

地域こども教室 スキー・スノーボード教室

初めての雪景色やスキー場に、期待を膨らませて30名の子どもたちがスキー・スノーボード教室に参加をしました。目を覚ますと、辺り一面が雪景色で、握っても固まらないパウダースノーに「今まで見てきた雪と違う」と大変驚き、感動していました。教室では、スキー・スノーボードの初級、中級コースに別れ、丸々1日インストラクターの指導を受けました。その成果もあり2日目の教室では、スキー場を元気に滑走する子どもたちの姿が見られました。参加した子どもは、初めて挑戦する子が多く、短い指導時間の中で、リフトに乗り、ゲレンデを滑ることができ、指導にあたった体育指導委員の皆さんも改めて子どもたちの成長の早さを感じていました。



教室に参加した子どもたち

見返り美人の里 笑楽の湯

毎月26日はお風呂の日。今月のお風呂は「さくら風呂」です。

寒かった冬が終わり、桜が咲く季節になると、体も気分も春を感じてきます。桜はきれいなだけでなく、色々な薬効があります。花びらではなく、樹皮のほうです。生薬名を「桜皮（おうひ）」といい、煎じて桜茶として飲めば食中毒、食あたりに効果があるとされています。今回の「さくら湯」ではこの桜皮を用います。消炎効果があり、湿疹、打ち身などの炎症を抑える働きがあります。

3月26日頃には、笑楽の湯の桜も咲き始めるでしょう。

春を感じるこの季節、桜を見ながら笑楽の湯でおくつろぎください。

今月のお風呂大好き



岩田祥穂さん・林 萌々さん・林 菜々さん
「おうちのお風呂と違って、楽しい気分！」

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（36）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①昭和２年生まれの老人ですけど、若い人からどうしてもお願いしますと頼まれ、声のネットワークを引き受けました。夷隅郡岬町ののんびり静かな町で生まれ育ちました。青春時代は、戦争、敗戦など苦難の青春でした。保田の住民になって５０年余り、私たちのお嫁さん時代は、よそもの扱いされ、悔しかったり、悲しい事が多々ありました。昔の姑さんは、怖かったですよ。

②私は若い人たちと生活していますので、若い人たちが勤めに出たあと、留守を預かり頑張っています。孫たちも自分の選んだ仕事に専念して一生懸命に頑張っていますので、それが一番のたのしみの一つです。私も暇をつくって高齢者学級、老人会に生花、習字、社交ダンスと色々なサークル活動に参加して楽しんでいます。

③鋸南町も若い人、子どもの減少、先の事を考えると心配です。Ｕターンする人も少ないし、年寄りが心配しても仕方ありませんが…。今は、頼朝桜の並木道を散歩が出来る時期まで元気でいられたらいいなぁと思っています。



笹生　八重子さん（中道台区）

次回は刈米　千代さん（本郷浜区）へバトンタッチされます。



笹生　数馬さん（竜島区・塗装業）

①大学を卒業後、実家である塗装業につき、早4年になります。家業を継いだことにより、学生時代には気づくことがなかった、父という存在の大きさに気づかされ、自分も生涯の仕事にしたいと毎日奮起して働いています。趣味は野球やスノーボードなどのアウトドアスポーツが好きです。

②2年前、よきパートナーと巡り合い、近々結婚することとなりました。これから二人で力を合わせて、ここ鋸南町に温かい家庭を築いていきたいです。

③昨今、財政難と言われておりますが、これから家庭を築いていくという事を考えると、子育て支援、救命救急センターなどの施設、老後の介護施設の充実などを町政がどのように考えているか、とても興味があります。町の活性化とともに、将来の展望に期待しています。

次回は松井　徳弘さん（仁浜区）へバトンタッチされます。

ボランティア日記

コロボックルクラブ

代表　黒川　美奈

私たちは、勝山小学校で図書ボランティアとして活動しているグループで、現在は、14名で活動しています。実際に活動できるのは月に一度ですが、低学年の子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、図書室の本の整理をしたり、傷んだ本の修繕などをしています。初めは、自分たちが「読み聞かせ」ということに慣れていないせいか、難しい部分もありましたが、最近では、「今月はどんな本にしようかな」などと、楽しみながら本を選んだり、季節や行事にあった本を探したりと、子どもたちが喜んでくれる顔を思い浮かべながら、私たち自身が楽しめるようになってきました。

また、時間がある時には、子どもたちと一緒に手遊びをすることもあり、読み聞かせとは違う子どもたちの楽しそうな「笑顔」に出会えたりして、嬉しくなります。これからも子どもたちとの心の触れ合いを大切に続けていきたいと思います。



コロボックルクラブの活動の様子

家庭教育通信 すくすく NO.44

『子どもに大切なこと？』

今回は、文部科学省発行の家庭教育手帳の中に書かれていることをご紹介いたします。

◇はじめに

子どもは、多くの出会いの中から、たくさんのことを学び成長をしていきます。その子どもたちの成長を見守る保護者も子どもの成長に合わせ、一緒に成長をしていかなければいけません。家庭教育手帳では乳幼児編・小学生（低学年～中学年）編・小学生（高学年～中学生）編の3冊に分けられ、成長の過程にあった悩みの解決法や相談窓口が紹介されています。今回は、それらを抜粋してご紹介いたします。

『子どもは親（保護者）の姿を見て学んでいく。』

親に感謝をし、親を思いやる心は、広く他人を思いやる心の基となる大切なものです。まず親は、自らの親である祖父母を大切にする姿を見せることを心がけましょう。

『「疲れた」「疲れた」と言う子どもが増えている。』

今の子どもたちは小さい頃から時間に追われ、遊ぶ時間も削られています。遊ぶゆとりのない子どもの中には、「疲れやすい」「何でもないのにイライラする」といったストレスを訴える子どもがかなりいます。子どもは、ゆとりのある自由な時間を与えられることで、初めて心から遊びを楽しみ、創意工夫をし、個性や創造性を伸ばすことができます。親は勇気をもって子どもたちに時間とゆとりを与えましょう。

『ダメなところを責めるより、良いところを増やしていこう。』

子どもに大切なのは、自信と、自分を大切にする力（気持ち）です。それは植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実りをもたらします。表面的なことにとらわれることなく、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えましょう。そして、その水や栄養となるのが、子どもの良いところを見いだし、ほめることです。叱るべきときは叱り、ほめるべきときはきちんとほめる。また親の思い通りの方向ややり方で子どもが行動しなかったとしても、その発達に応じて、子どもに任せる部分を次第に増やしていくことで、子どもは自らの成長を実感し、自信をもつことができます。

◇おわりに

保護者の皆さんには、それぞれに子育て方針があると思います。家庭教育手帳は、家庭でのしつけや教育についてまとめたものです。ぜひ、お読みいただき、子育てのヒントとしてご活用ください。

尚、家庭教育手帳には、様々な、情報機関を掲載しています。子育ての不安や悩み、家庭教育などについて知りたい方はぜひご活用ください。（教育委員会で貸し出しをしております。）

※引用　文部科学省発行
「家庭教育手帳」



教育委員会　生涯学習係
（☎五五―二一二〇）

健康通信

「月経前症候群」

月経前に、いらいら・うつ気分・風邪症状・動悸・むくみ・不眠・めまい・吐き気・眠気・乳房不快感・下腹部膨満などの症状が、三日から十日間続き、月経発来とともに減退・消失する状態を〝月経前症候群（ＰＭＳ）〟といいます。

ＰＭＳは程度の差はあれ、性成熟期の女性の半数近くに認められます。そのうち、症状が日常生活に影響が出るほどひどく治療の対象となるのは、20～30％くらいだといわれます。原因ははっきりしていませんが、女性ホルモンの変化が推察されます。ですから、出産前は気にする症状がなかった女性が、出産後に重症になることもあります。また生活リズムや環境の変化の影響も考えられます。そのほかに気分に影響を与える神経伝達物質（ドーパミン・セロトニン・βエンドルフィンなど）の関与も推察されています。

いつも月経前に症状が出るようであればＰＭＳですが、月経周期と関係ないようであれば、他の病気との鑑別診断が必要です。

ＰＭＳの対策は、ホルモンの乱れ・生活リズムの乱れ・ストレスの影響を少なくするために、まず日頃の生活習慣を修正することが大切です。

また、物事にてきぱきと対応して、かかえこまない・引きずらない、あまり悲観的にならない、余裕ある行動を心がけるといった工夫もよいでしょう。つまり生活習慣を整えることは、本人の努力次第ともいえます。

また、専門家でなくても、身近で話を十分に聞いてくれる人を見つけることもよいでしょう。話すことで気分が開放され、ストレスが軽くなる効果があります。

ＰＭＳのために寝込むような状態が続く場合などは治療を考えましょう。原因がはっきりしていないので決定的な治療法はなく、漢方薬・ホルモン薬等による治療を行います。一般的には婦人科を受診しますが、近頃は女性専門外来・相談などが整ってきているので活用するとよいでしょう。

（保健福祉課　保健係）

歴史資料館

山部赤人伝説

●連載152

田子の浦の富士

「田子の浦ゆ　うち出てみれば真白にぞ　富士の高嶺に雪はふりける」

万葉の歌人、山部赤人の富士を詠んだ有名な歌ですが、詠まれた場所については、駿河国（静岡県）蒲原、由比あたりの海岸と言われてきました。しかし田子台のある勝山海岸という説もあります。なぜそういう説が出たのか。赤人と房総の関わりについて追ってみたいと思います。



田子台から望む富士

山部赤人は、実は生没年、経歴とも不明ですが、奈良時代の下級官人だったようで、聖武天皇の紀伊、吉野、播磨などの行幸にお供して歌を詠んでおり、宮廷歌人として活躍しました。自然を詠んだ叙景歌に優れ、『万葉集』には長歌十三首、短歌三十六首が入っています。

赤人の富士の歌勝山説を最初にとなえたのは、長狭郡吉尾村（鴨川市）出身の江戸時代後期の神代学者、山口志道です。その著『百首正解』の中で、志道は、「山部赤人は上総山辺郡の産なり、故に赤人の富士を望むといふ歌は安房田子の浦にて読まれし歌なり。安房郡海辺の総称を鏡が浦といひ、この海に富士の影をうつす故に名とす。右の海辺に田子といふ所あり。その下の浦を田子の浦といふ。赤人ここより富士を望みて読まれし歌なり。田子の浦といへば駿河にのみありとおもふは東海道に近きのいひなり」と述べています。

上総の赤人塚

たしかに内房の海岸から見る富士のすばらしさは、この地に来て初めてわかります。田子という地名の下の海岸が田子の浦と呼ばれていたのもうなづけます。では、赤人の上総山辺郡（東金市）出身説はどうでしょうか。

現在、東金市田中に赤人塚なるものがあります。田んぼの中にぽつんとある塚で、赤人の墓と伝えられるものです。土地の伝承では、江戸初期の寛文年間に、この塚から一体の木像が掘り出されました。村人は、これを閻魔様と思い込み、閻魔堂に安置、のち法光寺に移しました。その像は現在朽ちてしまい、それが赤人像だったのかは不明です。

しかし、ここが赤人の墓という伝承はそうとう古くからあったようで、西行法師が、赤人のゆかりの地を訪ねて、上総を旅したことは、ここの赤人伝説が平安時代末期まで逆上ることができるということです。

都から遠く、古代には遠流（流罪）の地であった上総で赤人が終焉を迎えたという伝承をとく鍵は、古代に起こったある大乱と考証する人もいます。それは壬申の乱です。

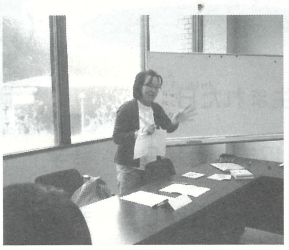
（続く）

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］

生涯学習 みんなで学ぼう

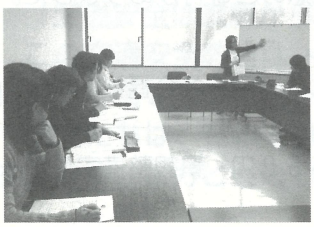
「キム先生のハングル語教室」

公民館では１月から３月まで、毎週土曜日に１０回のコースでハングル語の教室を開催しています。



何度も繰り返し発音を指導する金先生

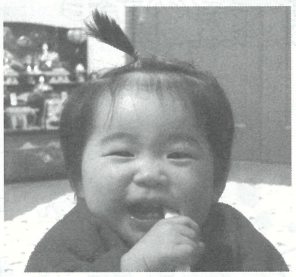
昨年は日本中が韓流ブームに沸き、あらゆる面で韓国という国が身近になりましたね。この教室の講師は千葉市にお住まいの金連順（キム・ヨンスン）先生です。先生はソウル生まれのソウル育ち。来日して今年でちょうど１０年、今は県内のいくつかの高校で韓国語の講師をなさっています。先生は発音の指導に特に厳しく、１８名の参加者の皆さんは先生の口元から目を離さず、発せられる言葉に真剣に耳を傾けています。ハングル語は、かつては主に子どもや女性が使う文字だったそうです。そんな韓国の歴史、文化、伝統についても学べるこの時間を楽しんでいます。そして、韓国への関心を益々深めているようです。



熱心にノートをとる参加者

問い合わせ先　中央公民館☎５５－４１５１

わんぱく登場



芹　琉ちゃん（11か月）

〔福原　忠さん　第1子　小保田〕

初めてのひな祭りとお誕生日が来る三月です。時々しりもちついちゃうけど伝い歩きもできるし、ちょっとこぼすけど自分でご飯も食べるし、未完成日本語だけどおはなしもいっぱいできるようになったよ。ママの会社に一緒に出勤して、ママはお仕事に、私は保育室に行くので、お友達もたくさんいるのよ。

桜だより

～佐久間ダム東側に新名所誕生～

「桜の里日本一」を目指して、早咲きの頼朝桜（河津桜）の植栽を推進している町では、里山的雰囲気の佐久間ダム湖東側に新たな桜スポットの整備を進めています。

竹林を切り開き、約5haの山肌に200本の頼朝桜の植栽を完了しました。

植栽された頼朝桜は、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の緑化推進補助金により購入しました。この補助金は宝くじの普及と広報を目的としたもので、現地には補助金で購入されたことを記した看板も設置されています。


植栽された頼朝桜と佐久間ダム

植栽は、地元大崩区に本拠を置く、佐久間ダム湖観光生産管理組合（石井廣一組合長）のみなさんを中心に11名の協力を得て実施されました。

植栽された山頂付近からは佐久間ダムを一望でき、水仙や頼朝桜を鑑賞しながらのハイキングコースとしても最適な場所となっています。水仙に始まり、早咲きの頼朝桜からソメイヨシノや枝垂桜、どこよりも長い春がここにはあります。

町では今後も佐久間ダムを中心に周辺区域を、花のあふれる町民の憩いの場所として整備を進めていきます。

ぜひ、春のひととき、足を運んでみてください。


植栽に協力いただいたみなさん

B&G NEWS

◇**温水プール開館時間**　10時～21時
　12時～13時及び17時～18時は休憩
◇**休館日**　月曜日
◇**プール使用料金**
　町内者　小中学生 150円・一般 300円
　町外者　小中学生 250円・一般 450円



≪鋸南町B＆G海洋センター水泳教室紹介≫

☆初級・中級コース☆

木曜日コース　①18：45～　②19：50～　各1時間
土曜日コース　①14：15～　②15：20～　各1時間
対象者……小学生
練習内容…正しい泳法とフォーム作りを中心に練習します。現在、町内外合わせて180名のお友達が参加しています。無級から1級までのクラス分けがあり、毎期ごとに進級テストをして上のクラスを目指します。
◇**お問い合わせは**　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411まで

おの子もこの子もきょなんの子　おめでとう　（1月26日から2月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆篠原　優月（ゆづき）くん	平成17年1月16日	学　・裕　子（第2子）	本郷浜	
☆齋藤　隼人（はやと）くん	平成17年1月24日	幸　平・里　菜（第1子）	奥　山	元気な子に育ってほしい
☆明石　凌空（りく）くん	平成17年1月27日	秀　之・めぐみ（第1子）	大　崩	元気な子に育ってね!!

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります
◇合併調整室広報係
☎55－4803

人の動き

世帯数	3,745世帯	（－ 5）
人　口	10,235人	（－13）
うち男	4,931人	（－ 5）
女	5,304人	（－ 8）

2月1日現在　（前月比）

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

笹生　ちよ子さん
　3万円　社会福祉寄付金
平嶋　政男さん
　6千160円　景観整備寄付金
勝山小学校
　2万8千716円　スマトラ義援金